



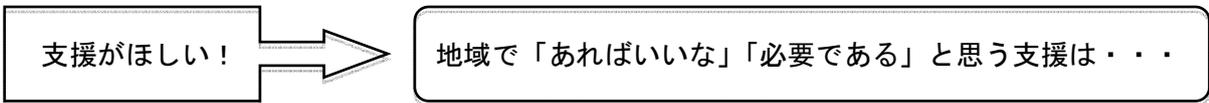
昨年5月につばさの会より会員の方に向けて取ったアンケート（回収率41/59 → 約7割）の結果から、放課後や長期休暇中の生活について困っている、という意見が多く見られました。以下に地域生活に関するアンケート結果をまとめました。

つばさの会会員が困っていること、支援がほしいこと（共有したい情報）は…

放課後や長期休暇中の生活で困っている！



「余暇の過ごし方」44.4% 「一人での留守番」36.1%  
「居場所の確保」33.3% 「リハビリや療育の場」19.4% ほか



自由記述の結果を下記にまとめました。

① 療育、訓練 (3件)

「同じ障害を持つ子同志のグループ療育ができる場所」「休日に療育や訓練を受けられる場」

② 地域での余暇活動、課外活動 (8件)

「同世代の生徒達といろいろな体験や活動ができる場」「地域で幅広く参加できる行事」  
「近場で交流会のような場を作ってほしい。余暇を友達と過ごすことがないので、ゲームばかりやっていて心配」  
「萱野小校区の『ぴあぴあルーム』で健常者と障害者が一緒に遊べて、子どもがすごく成長できた」

③ 日中一時支援、子どもの居場所 (14件)

「長期休暇中、子どもが安心して過ごせる場所」「安心して預けられる場所」  
「ひょっこり顔を出しても誰かが声をかけてくれる、居場所的な所」

長期休暇中、とにかく預けるところがありません。市内数ヶ所でも必ず預かってくれる場所があれば。

ショートステイを利用したいが、予約が取れないことも多く、返事も2週間前なので、とても困る。長期休業時だけでも 定員を増やして欲しい。

一時支援の場が少なく、働く母親にとっては確保ができないと生活できないので、場所が増えると安心。

子どもの夏休みの問題で仕事を辞めた。

④ 送迎、ガイドヘルパー (3件)

「子供一人で動く時に利用できるヘルパーがあれば助かる」 など

⑤ その他 (2件) 「親同士の情報交換の場」 など